常磐毎日

発行所
平市田町７５
常磐毎日新聞社
営業部専用 1,210
編集部専用 1,269

産婦人科 齋藤医院 入室完備 駅ヨリ三分 平市南町 電九〇二

明日のお天気

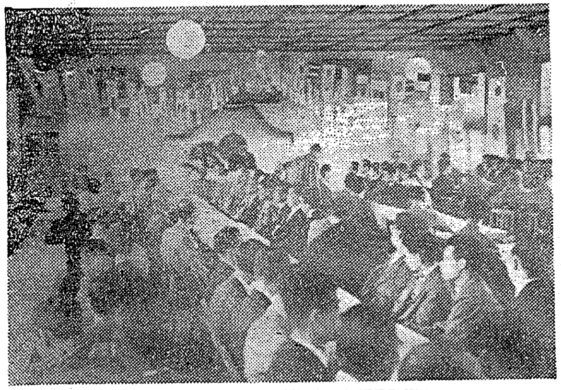
「今晩」南東の風、曇りで時々雨降り。「明日」南東のち北寄りの風曇りで時々雨で夕刻から回復に向かう「海上」今晩次第に風波、明日はシケましよう。

# 県事務所の開庁式

## きよう盛大に行う

県の機構改革により去る一日から発足した県石城事務所の開庁式は十四日午前十時から同所の大会議室に知事代理の白石出納長ほか関係者百五十余人と滑井所長ほか職員百二十人が出席して行われた。

式は鵜沼次長の開式のことばにはじまり白石出納長の知事式辞、滑井所長のあいさつから県会議長代理に馬目県議、石城市町村長代表代理に鈴木好間村長、同市町村議会議長代表に本田内郷市副議長によりそれぞれ祝辞がのべられたあと木村、武藤、斉藤代議士、大河原、田畑参議院議員、高萩会田、小野の地元県議、蓮沼県人事委員長、芳賀勿来市助役らからの祝電の披露と滑井所長から新設の六課長の紹介が鵜沼次長、兼総務、背田民生、天沼税務、天野経済、大和田農政、斎藤土木の六氏の順に行われ盛会の裡に閉会した。



【写真は開庁式とあいさつする滑井初代所長】

# 受講生定員越す

## 大うけ平の市民学校

平市教育委員会、同公民館主催の第二十回市民学校は十三日から十一月十七日までの毎月、水、金曜日開設される。これに先立つてきのう午後六時半から公民館二階で開校式を行つたが、各科目とも申込みが殺到して締切日前に定員を越すという盛況さである。同学校の会場は公民館二階で夜六時半から八時半までの二時間で科目はつぎのとおり。

◆月曜日…「平城をめぐる歴史と伝説」平一中校長鈴木光四郎

◆水曜日…謄写技術「新しい孔版、技術、材料、きり方、印刷」サンワ孔版技術研究所武田浦

金曜日…店員の教養「販売、商品管理、応待、サービス、包装技術など」大黒屋旭日勝次郎、坂本紙店坂本昌蔵、中野洋品店中野勇雄

# 移動相談所も開設

## 15日から栄養改善運動

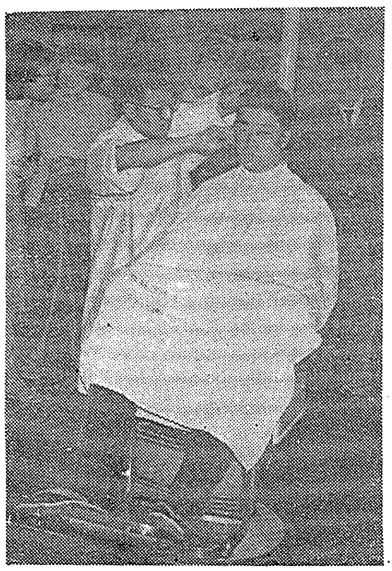
「明日の健康は正しい食生活から」と栄養改善普及運動が十五日から二十一日までの一週間県下一斉にくりひろげられる。平保健所では高血圧、栄養欠陥性疾患が多いことから食生活の不合理をのぞき、改善を図ろうと❶基準献立普及による食生活水準の向上❷白米偏食の是正と良質蛋白質の確保❸食生活改善地区組織の育成に重点をおいて事業を推進することになり、期間中街頭栄養相談所、栄養展示会など種々な計画をたてた。期間中の行事計画はつぎの通り。

◆街頭栄養相談所の開設＝二十一、二十二の両日平駅前◆広報車による管内の広報活動＝二十一、二十二日◆基準献立の普及＝講習会、座談会、栄養相談の開催◆基準献立資料の配布◆集団給食関係＝◆講演会、講習会、座談会を施設単位に開催◆給食委員会の開催◆集団給食研究会の開催＝十七日午前十時から平保健所会議室◆病人食展示会十一月中◆栄養改善展示会＝十五、十六の両日平保健所内、内容は栄養食品、強化食品、粉食関係の製品、基準献立、離乳食など。

## 東条氏の後援会結成

### 12月に発足

四倉町出身、キングレコード専属作詞家東条寿三郎氏（三七）＝四倉町長友生れ＝の後援準備会は十三日午後六時から四倉町公民館に発起人者新妻議長はじめ二十五名が出席して趣意書並びに会則案を審議して準備委員会を設立、委員長に四倉公民館長松崎務雄氏、副委員長大浦公民館長片寄軍忠氏、同大野公民館長三吉敬順氏を選び、十一月末日までに会員約二百名を募集することになり、申込み先は四倉公民館で後援会の発足は十二月に創立総会を開いて同時に発足することになつた。なお、同会発足記念として近く有名芸人を招いて盛大に歌謡大会を開く。



## モデルさんも真剣に

### 理容研修会

平高等理容美容学院研究会主催の第二回研修会はきのう十三日午後一時から平市田町の平高等理美容学院で開かれた。講師は東京公衆衛生技術学校教諭谷新之助氏を招いて研究科目「カツテイング」の指導を受けた。この日研修を受講しようと多数の理容師たちが集まつてモデルを使つて行うハサミの使い方など各種目にわたる訓練を受けた。

【写真は理容研修会風景】

## 平の観光パノラマ

### 15万円で駅前に建設

平市観光課では市内の観光地を広く宣伝しようと平駅前に「平市観光大パノラマ」を建設することになり、近く着工する。計画によると総工費は十五万円、大きさは鉄骨の足組二・一米のうえに横七・二米、縦三・六米の案内板を設置するもので、夜間は主要地に点滅装置をする。案内板には新舞子、塩屋崎燈台、松ケ岡公園、水石山、各海水浴場などの観光地を細々と書き込むもので、十一月中旬には完成する。完成後は平を訪れた観光客が、一目見れば平が判ることになる。

## 貯金の日に表彰される

# 三つの子供銀行

## 植田小、平二小、内郷二中校

十七日は〝貯金の日〟であるが、この日を記念して大蔵省と日本銀行から全国の小、中、高の優良「子供銀行」が表彰されることになつたが、石城地区では勿来市の植田小学校子供銀行、平第二小学校の梅ガ香こども銀行、内郷市内郷第二中学校あけぼの郵便局が表彰をうける。

## 平二小校は二度目

### 貯金額も五百万突破

表彰をうける梅ガ香こども銀行はこんどで大臣表彰二回のほか県知事、市長表彰を各一回うけている同こども銀行は二十四年三月十四日に社会、算数の科目の学習と貯蓄心のかんよう、子供なりの経済知識と金銭に対する正しい理解をさせようと設立したのが狙いで、全校生徒一千六百六十八人のうち貯金している子供が九七%の一千六百三十二人で貯金する子供たちの六〇%は小遣銭を、家事の手伝いでもらつたのが四〇%、アルバイト一〇%の割合になつており一人当り三千一円の貯金をし、総額では五百三十万円にのぼる。

## 永年勤続者四百余表彰

### 常磐炭礦で

常磐炭礦では十二日永年勤続鉱員四百二十六名を各鉱ごとに表彰した。これは同鉱がことしから実施することになつたもので三月末現在で直接夫二十年以上、間接夫、坑外夫二十五年以上の基準に該当した者。表彰者は▽湯本百五十五名（直接夫百二十四、間接夫二十二、坑外夫九）▽内郷百五十六名（直接夫九十八、間接夫二十七、坑外夫三十一）▽磐崎四十七名（直接夫三十九、間接夫二、坑外夫六）▽鹿島四十名（直接夫二十八、間接夫四、坑外夫八）▽製作所二十一名となつている。

## 飯島氏監査役に就任

常磐炭礦経理部長飯島隣俊氏は一日付けで監査役に就任したため、経理部長を辞任したので取締役千葉久三郎氏が後任の経理部長になつた。

## 平で交通調査を実施

平市では十五日午前七時から十六日午前七時までの二十四時間にわたり起終交通調査を実施する。これは都市整備の一環として市内に一定の駐車場を設置するための基礎資料とするもので福島県では福島、郡山、平、若松、磐城の五市が指定された。平市は北目、小島好間、神谷農協前、谷川瀬の五カ所で乗用自動車、バス、貨物自動車、特殊車など全般にわたる運行目的、積載物、出発地、経過地、目的地など細部を調査する。

## 児童画の研究に

### 新美教研を結成へ

児童画の指導研究をすすめようと小玉小教諭市原健氏、白水小教諭渡辺貢氏らが発起人となり、新美教研究会を発足することになつた。発会式は十七日午後六時から平市の永野文具店で行う。石城地区の児童画研究熱は年々盛んになり、指導方法を研究していこうというもので、展覧会やゼミナールを定期的に開き、東京から一流講師を招き、研究会を夏休みと冬休みに開く、当日はとりあえず会員に管内の小学校教諭約五十人が集まる。

## 集団給食の研究会

浜通り地区集団給食研究会（会長山内正人氏）主催の集団給食研究会は十七日午前十時から平保健所で栄養士、給食関係者など多数が集つて開く、研究内容は次の通り。

▼モデル献立の作成▼廃棄量と使用量、総量との関係▼調理士の資格取得について▼農業共進会参加について。

# 丹野さんら表彰

## 内郷 火災を未然に防ぐ

内郷市消防団の秋季検閲は十九日午前八時から金坂グラウンドで行うが、当日は永年勤続退職分団長柴田清助（元第一分団長）阿部信平（元第六分団長）萱野醇（元第七分団長）の三氏が沼田消防長から表彰される。また一般協力者として同市白水字柳沼六七丹野真砂子さん＝内町小五年＝と同町入山川島幸一君の二人が表彰される。

丹野さんは八月十六日同町字柳沼地内の住宅で家人の留守中、石油コンロから火が出たのを早期発見、付近の人に知らせるなど子供ながらに火災を防止したもの。

川島さんは六月二日同町入山地内の住宅屋根から出火したさいこれを早期発見、付近に知らせ自から消火作業に従事し、大火を未然に防止した。

## 食生活改善補助員講習

平保健所では食生活改善指導補助員講習会を二十三日午前十時から同所会議室で開く。講習内容は❶基準献立の作り方（家族の必要栄養量を基にした食物のとり方）と農繁期の栄養❷調理実習❸座談会「基準献立を実施し新生活をするにはどうしたらよいか」などとなつている。

# 先生方の虎の巻

## 「教育技術」にのる平二小

小中学生の雑誌を発行している東京都神田の小学館では十三日、平第二小学校（校長湯山啓二氏）に編集員を派遣して同校四年生の算数授業振りと特別教室の運営を主体に学習状況を録音し、同館発行の「教育技術」に掲載することになつた。

これは今月上旬、全国僻地教育研究大会が本県の川前小学校小白井分校など三つの僻地校で行われた際、全国の算数モデル校の授業状況を「教育技術」十一月号に掲載したいから福島県下で一番優秀な学校を紹介してくれと依頼をうけた県教委が同校を指定したもので、この「教育技術」は先生のトラの巻といわれる教育者の月刊雑誌で、訪れた小学教育技術編集員の田保謙吉氏は同日午前中は四年生の算数学習と特別教室の運営について視察、午後は校長室に湯山校長をまじえて四年担任教員と算数の教育技術について座談会を行つた。学習状況と座談会は録音して持ち帰り十一月号に掲載することになつている。

【写真は「教育技術」の編集員を囲む座談会】

## 常磐火力の球技会成績

常磐火力勿来発電所の第二回従業員親睦球技大会は十二日午前八時三十分から同所グラウンドで行い、野球、卓球とも運転課チームが優勝、庭球（個人）は原、森下組が優勝し、優勝杯を獲得した。なお野球、卓球で優勝した運転課は二回連続の優勝であ[illegible]

# 新聞配達

### 植田小六年　鈴木英信

（上）

僕が新聞配達を始めた動機は自分のおこないから始まつた。僕は朝、剣道の練習に行つている。いつも行きたいのだが、起こされると、おつくうで行きたくなくなる。そこでいつも言われることは「もつと、忍耐強くならないで、どうする。新聞配達でも、やつてみろつ。そうしたら、少しは忍耐強くなつぺから」で、ある。だから僕は、新聞配達をしたくてたまらなかつた。

ある日の、社会の時間であつた。後で、「……新聞配達……夕刊……」「…やる…今日から…」「…おれゆつてやる…」などと言うことばを耳にした。休み時間になるとすぐ、「夕刊配達のくち、あんのが、おれども、たのんでくろ」「うん、たのんでやつから」と、言つたので、小踊りして、喜んだ。そして矢次ぎ早やに質問をした。質問とはこんなものであつた。

「何つう、新聞だ」「常磐毎日つうんだ」平でやつてんだけんとん今度は植田でもやんだど」「どこ配達すんだ」「どこでもいいんだ。町歩いて店屋だの、あと少し引つこんでても医者だのおつきどこはいれんだ」「そんだら、ええつくれ、いればいいんだな」「うん。んだがらやさしいど」「何時ごろがら配達すんだ」

ジジーン、ジイーし、ジーン

五時半ころがらだ」「起立」で話は中途で切られた。

今は学校帰りの途中である。野球の練習があつたけれど、さぼつて来たのだ。それは瀬戸川君といつしよに帰るためだ。瀬戸川君は僕の家にまわつてくれた。今度は相良君の家に行つた。そしたら、まだ帰つて来ないと言う返答である。歩きながら話をした。「変だなあ。先、帰つてるつて、ゆつてだのに」「……ああー、んだ。あれ、野球やつてだつぺん。あれ栄ちやんだど、たしか。なつ」「んだは。んだげんとんかんまねつ。五時までに、おんねげに、来るつてゆつてだから」「うん、んだらおめげで遊んでつぺ」と言つているうちに瀬戸川君の家についた。「ちよつと待つてろな」と言つて家に入いつて行つた。僕は近くの店でくじを引いたら一等だつた。これから新聞配達をするというときに一等なのだからえんぎが良かつた。そのうち瀬戸川君が口をもぐもぐさせながら出て来た。そして「四時半だから五時まで小野田君の家で遊んで来つぺ」と言つた。僕はすぐ賛成した。

小野田君の家に行つたら、小野田君はいなく、弟たちがいたので、弟たちと遊んだ。三十分ぐらいたつたので、相良君が来ると思つて瀬戸川君の家に帰つた。瀬戸川君は時計を見て来ると言つて家に入つて行つた。その時相良君が来たので三人そろつて、瀬戸川君の歩く方に足をむけながら、だまつて歩いた。ぼくはこんなことを考えた。新聞をやつている人はどんな人だろう。新聞記者のようなんか、それともおもしろい人か、おこりつぽい人かと考えた。

◎……◎

## 魚菜市況

青果（キロ当り単価円）

| | |
|---|---|
| ▽ネギ（小束） | 一〇一二〇 |
| ▽キユウリ | 二五一八〇 |
| ▽ナス | 七二 |
| ▽ニンジン（小束） | 一二一二二 |
| ▽ダイコン | 一二一二二 |
| ▽ゴボウ（四キロ束） | 七〇一一二〇 |
| ▽玉ネギ（〃） | 一七一二二 |
| ▽サツマイモ（一八・二七キロ） | 二〇〇一三〇〇 |
| ▽ハクサイ（十五キロ） | 二〇〇一三五〇 |
| ▽ホウレン草（一束） | 一〇一一五 |
| ▽キヤベツ | 一二〇 |
| ▽ナシ | 一三一四〇 |
| ▽イチヂク | 三五一五五 |
| ▽カキ | 三五一六〇 |
| ▽マツタケ | 三〇〇一七五〇 |

（マルサ青果調）

魚類（単価キロ当円）

| | |
|---|---|
| ▽サンマ | 二四一　二一 |
| ▽カツオ | 八八一一八〇 |
| ▽マグロ | 一六〇一二六七 |
| ▽アカジ | 四八一一〇〇 |
| ▽ヤナギ | 一〇七一二五五 |
| ▽ドンコ | 二五一三五 |
| ▽ノドグロ | 一〇〇一一〇七 |
| ▽中キント | 一三三一一七三 |

## 余韻

[illegible]して余りこだわらないでもよいと思う▲言葉の封建性だけを取りあげると「妻」の方がもつと悪く解釈できる❶では「配偶者の一方である女性」を呼称とあるが❷には「料理でサシミなどのあしらいに用いるものの称」ともある。余りこだわると妻とはサシミの「つま」みたいなサツカクにもとらわれるし、また主婦という項をみると「主人の妻」とあるから解しようでは妻とは「主人の付属物」みたいにもとられる。さらにつきつめると口も開けなくなりそうだ▲御婦人たちの楽しそうな団らんをみていた案内役のおじさん（五十才ぐらい）は「最近は男より女の方が何だかんだと家を留守にする機会が多くなつたネ、農村などでは男だつてこんなに出歩くことはなかつた。イイ世の中になつたもんだなア…」とひにくつていたが、たしかに女性の進出は各方面で目ざましいものがある▲その在り方などについて、なかにはいろいろと批判する声もあるが、とにかく婦人たちが自ら「主人」を論じ「妻の座」を論じ家庭、そして社会を論じ合うまでになつたことは進歩だろう。亭主族も「主人風」ばかりは吹かして居られなくなつた。

喜代三 儀予ねてより[illegible]十月十三日[illegible]永眠致しました
茲に生前の御交誼を深謝し[illegible]
尚葬儀は十月十五日午後[illegible]於いて告別式を相営みます
昭和三十三年十月十四日
平市字[illegible]
喪主 大和田満子
親戚総代 大和田[illegible]
友人総代 [illegible]
外 親戚一同

福助ミシン・トヨタ編物機
河合ピアノ・オルガン
総の 小山商会
ミシン部・楽器部
TEL 1576

銘菓 七段最中 平凡

沢庵もシリーズの覇を競う
名古屋名産金城沢庵、宝海沢庵、サラリとした味を誇るみりん漬沢庵さては今年の大根を早漬した新漬沢庵と肩を並べてお客様のご批評を待つています
○金城沢庵 百グラム 八円
○宝海〃 〃 七円
○新漬〃 〃 五円
水曜特売 山海漬百グ一 四円
小名浜 平市 藤越

アキヤマの缶詰新発売
TEL 649

味覚の秋
食慾の秋
洋食がグント
おいしい季節になりました
サービスランチ
100円
レストラン
パール
平市三田小路 TEL1388

粋にさばけたみみづく和尚！色事もめ事なんでもござれ！トボケた和尚の底ぬけ楽しい物語！
東宝
みみずく説法
原作 今東光
監督 久松静児
森繁久弥
乙羽信子
[illegible]
藤木悠
浪花千栄子
山茶花究
田中春男
曽我ノ家五郎八
曽我ノ家明蝶
密輸団の巣屈に入り死の消音拳銃に挑戦する新任刑事！
ドスを[illegible]むな
小泉博
中田康子
有島一郎
園田あゆみ
若原雅夫
15日→21日
民劇
TOHO SCOPE

# 平藩の三大騒動

(5)

# 元文百姓騒動

……鈴木光四郎……

覚

金百壱両三分

右者御台所御用として貸上げ借用せられ申す所の実正なり、返済の儀は当卯暮より子暮まで十カ年府但し年拾両七百文ずつ年々滞り無く返済申すべく候 後日のため如件

享保八卯三月

大久保吉右エ門　印

以下重役連名

弐丁目　六兵衛殿

この文書のうち、保証人に内藤治部左衛門や上田内記などの家老や重役が加わつていることは、いかに藩財政が苦しかつたか想像されるのである。

磐城史料と藩史料による騒動記以上の原因から物情騒然となり百姓一揆が起つたのである。

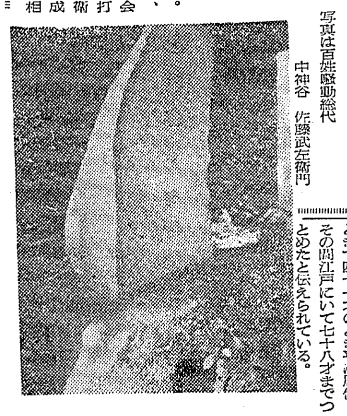
元文三年九月十八日

内藤氏藩史料には、九月十八日の状況を次のように述べている。

昼前より百姓ども平町口々より押入り鎌田町にて酒屋へ立寄り酒給べ肴など申付け其外入用の品々出させ、申の中刻平町三丁目市郎右衛門家居打破り家財打くだき紺屋町理兵衛居宅打破り、又二丁目町会所へ取掛り御制札こわち諸帳面類堀へ投込み牢舎人荒田目村喜惣次、上高久村長左衛門を引出し夫れより才槌小路へ入り赤井喜兵衛脇の御番所を打破り直ちに三松金左衛門の居宅を打くだき冠木御門（現在の馬目酒店付近）に押寄せ田町会所を心がくる勢なり。

御家中の面々追々登城、大手は加藤又左衛門組、搦門は近藤惣兵衛組、三の丸は内藤舎人組にて相固め家老内藤治部左衛門は御広間につめる。赤井、拝郷、村田、石川、塩川、神谷、三上石原等に御手の者差添へ弓鉄砲にて冠木御門へ出て防がしむ。百姓の内、手負人これ有る由、酉の中刻、一揆の者ども田町会所を打破り諸帳面焼捨て堀へ打込み甚だ乱暴なり。赤井喜兵衛思ふに大勢打殺ては御取始末成され難き儀もこれ有るべくと相談し矢留致させ御城へ引取る。御用部屋にては百姓ども願これ有り願書差出させ候はば引退き候事もこれ有るべく然れども大勢の儀なれば中々行届き申間敷く依て紙幟に「惣百姓ども町方町会所田町会所打破候定而願等なるべく候何分にも願まかすべく候しづかに可申聞候」と認め喜兵衛へ渡さる。鋼山なる者に紙幟相渡し百姓共へ申聞かせ早速挨拶致し候様申付相待候へども何のことも無く其間しばらくこれ有り候故御用部屋にて紙幟認め塚本へ申付け加藤兵衛門など差遣さる。一同騎馬にて田町会所まで罷越候処最早人類過半引退候に付町へ乗出て見れば平町一丁目に集り居候間百姓ども願の趣取次ぎ候半と罷り候其方どもへ手指候儀にてはこれ無く挨拶致さざるは不了簡に候と声々に申通れども答ふるもの無し

（後略）



写真は百姓騒動総代　中神谷　佐藤武左衛門

---

# 〃露しんの伝記〃発刊

## 雫石校長二十余年の研究実る

常磐市藤原小学校校長雫石太郎氏（四八）は昭和九年ごろから昔、平の藩主だつた内藤露しんの俳句研究などを続けてきたが、二十余年の努力が実りこのほど資料がまとまつたため近く常磐市教育委員会の協力を得て〃露しんの伝記〃を出版することになつた。

石城地区は勿論全国でも内藤公などの伝記を明らかにした本がないのに気がついた雫石氏は前からこの研究をすすめてきたものであるこれにはもと須賀川図書館長矢部保太郎氏の指導もあつて奈良天理図書館などの資料もこまかく調査されてある。

本の内容は当時内藤公が学んだ談林派俳句が三千余句も記されてあり、その中には平市神谷にある一山寺を詠つた「腕切りておとす世もあり花の雪」などがあり、本は菊版で百三十ページ十五枚の写真入り。

内藤露しんは本名を義英といい当時十万石のうち三万石を本の資料につぎ込んだといわれるほどで全国にも相当の弟子がいると伝えられている。同公が家督を弟の七代目義孝にゆずつたのが二十八才のときで四十一才のとき平に居住、その間江戸にいて七十八才までつとめたと伝えられている。

なお雫石氏はこの伝記について石城碑文百五十基についても研究しており、近くこれも発刊されるという。同氏の永年の努力がむくいられたわけで学校関係から期待がかけられている。

**雫石校長の話**＝俳句の中には有名な西山宗因、北村記吟らがのせてあり露しん自身のはないが露しんの伝記とした。原稿は出来ているので教育委員会の協力を得ればすぐにも出版したい。とりあえず五百部発行するが永年研究したかいがある。

---

# タケ狩り賑う玉山温泉

四倉町玉山温泉裏山一帯〃香りも高い松茸〃の山々約百七十ヘクタール（百七十町歩）は連日の晴天に恵まれ、観客で大賑いを見せている。

○…十二日の日曜日には常磐、平方面からどつと団体客が押寄せ、茸山は人の波に埋まり、青空宴会があちらこちらで見られ一升瓶を立ての宴会振りで泥酔した観客の姿があつた。

○…一方玉山温泉、藤屋、石屋、玉屋の各旅館は日曜だけに超満員で炊事場はごつた返しの有様、今が稼ぎ時とばかり部屋がないところから帳場まで客に貸す始末であつた。

○…秋は玉山の茸刈りで四倉町のハイヤーも忙しく、普通は四倉から玉山まで片道三百五十円（小型車）であるが、これも客を見て四百五十円とか……で、運転に大童である。

○…茸の収穫は今が最盛期で十二日は約八百人からの人出で、山を見物、昼食を御馳走になり、帰りには小さな籠に松茸二、三本三百五十キロ入（百匁程度）で大人一人当り三百五十円の会費だ。昨年は約百キロ（二十六貫位）が盗難にあつている点から今年は土、日曜日の人出の多い日には地元青年団らが山の警戒に当るなど、なかなかの警戒ぶりである。

---

# NHK平放送局

## アンテナ20米高くなる

平放送局のアンテナ延長工事は去る九月十五日から行われてきたが十三日で骨組となる鉄柱取付け工事が完了した。これでいままでより二十メートル高い六十七メートルのアンテナとなり、建造物としては平で一番高いものとなる。同放送局には昨年十一月に放送機を取替えたので同時にラジオの雑音をより少なくして聞いてもらおうと、アンテナを高くしたもので、放送局から二十キロ四方の一般家庭もいままでよりはよくなりますと語つている。なお十三日は直径四メートルの頂かん輪が最上段に取付けられて一応の骨組だけ終つたわけで、十一月初めには空中線の取付け工事も完成するので、これが終れば航空標識として赤いランプ四個がアンテナの上段と中段につく。

---

# 好間に補導会結成

少年補導会の統制をはかり犯罪を未然に防ごうという好間村少年補導連合会結成式はこのほど好間第二小学校で会員六十人が出席して開かれた。同二小校内には六つの補導会があり、まちまちの活動で統制がとれなかつたところから、連合会を結成したもので、同会の事務所を学校内におき、PTA、事業所学校など三者協力によるもの。役員次のとおり。

◇会長高萩良助◇副会長藤内得二、吉田清◇会計高萩松男、吉田文良◇監査勝沼秀男、川角まつ、大河原茂弥

---

# 何事でも先ず私に

## 森繁の生臭和尚さん

映画　みみずく説法　15日より　民劇

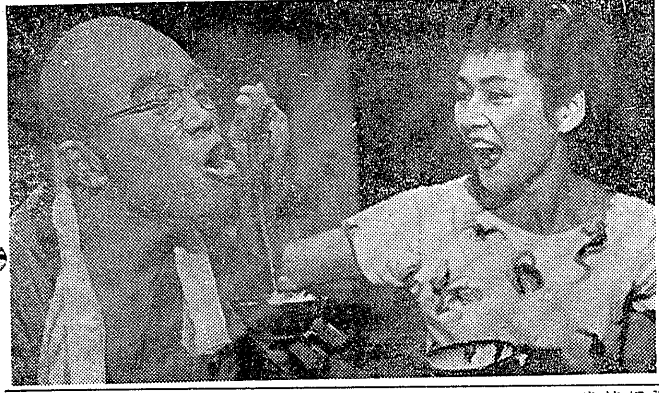
東京映画、久松静児監督は、直木賞作家であり お寺のお住持さん今東光原作の「みみずく説法」のメガフォンをとる。同映画は製作・滝村和男、脚本・斎藤良輔、長瀬喜伴、椎名龍治、キヤメラは遠藤精一で、物語は田舎のお寺天台院の住持が、三十六軒の檀家の人々との間におりなす涙と笑い、恋と恋との突つ張り合いと憎しみ、およそシヤバツ気のつよい人間臭たつぷりの風俗社会劇と云つた異色篇だが、作者と同様、映画製作のスタッフもまた、この血の通つた温い人間群像の赤裸々な姿を深い慈悲と憐憫を傾けて、銀幕に躍動させようとする。

**物語**＝大阪から南東へ一里半、生駒・金剛・かつ城の三山に囲まれた南河内、八尾の町にある天台院、三十六軒の檀家を持つお住持はなかなか話の判る小説書きの今野東吾和尚さんである。夜ふかしで夜つぴて起きているので人みな呼んで〃みみずく和尚〃という。月に一度の有難いお説教日定刻をすぎても、今日は猫の子一匹やつて来ない。それも道理、檀家総代の貞やんが丹精こめて飼いならした斗鶏の〃兵助〃と永年王座に君臨している高安亭の〃鬼高安〃とが蹴合う当日である。

朝吉親分の注進でそのことを知つた和尚は、法衣の袖をまくり上げて〃兵助〃の助勢にとんで行く気の軽さである。が、応援の甲斐もなく〃兵助〃は敗れてたおれた鶏を痛ましげに見ていた貞やんの娘和子は、クルリと向き直つて、恋人の仙吉に「ウチと結婚したかつたら勉強しなあかんで」と、現代用語早わかりの本を渡してサッサと行つてしまう。気の弱い仙吉は相愛の仲なのに、まだ和子をモノにしていないのだ。勝つた高安亭はかねてぞつこんのスタンド・バーのマダムおふじを口説きに出かけるが、そこで朝吉と鉢合せ両方とも気まずい思いをする。豚毛工場主の矢引さん、通称〃豚の毛はん〃は無類のお人よし、部落特産のブラシの材料を卸すわけだが、この仕事もナイロン・ブラツシに圧されて、日々に衰退して行く一方とあつてこのところ一寸芳しくない。

貞やんは、廿年前にすてた隠し子貞一郎が商売の資本の金をくれといつて来たのに悩んでいる。財布はお内儀がにぎつているので、金策に奔走、それにお内儀のしつ垢が絡んで、頗るコミ入つた事態に陥つている。この隙につけ込んで悪友の勘次に入智恵されて発奮した仙吉が、和子の寝室にしのび込む。ねたふりをしていた和子は、入つて来たのが仙吉と勘次だと判ると、黙つて担がれて水車小屋へ。この担ぎを発見した和尚、二人が本当に好きなら、と仲人役まで引受けたので和子、仙吉は大喜び。

だが、貞やんは娘ムコは学校出でなければ、とクビをタテに振らない。金策に苦しんだ貞やんが、豚の毛はんから借りるために、和尚さん、朝吉の力を借りに来る。あれこれと話がもつれて、金は何とか都合をつけて貰えるが〃若い時のことを思い出して、ムズかしいことを云わず惚れ合つた二人を一緒にしてやれ〃が条件となつてこの縁談めでたくOKとなる。



悪因悪果、そのせいか仁吉少年の飼つていた軍鶏の〃龍騎兵〃が高安亭の〃鬼高安〃をものの見事に打ち負かした。わがことの様に喜んだ貞やん、朝吉らは祝い酒で大張り切り、だが、敗けた高安亭は本領を発揮して、おふじ相手に云うことをきかなければ貸した金を返せと、うるさく云い寄る。すでに朝吉に心かたむいているおふじは、和尚さんにやるせない身の上を相談に来る。

「生れ変つた心算になれ。借金はわしがどないでもしたる」とおふじをこつそり逃がしてやつた和尚さんに一本山から〃教師試補今野東吾、権律師に任ず〃の辞令、和尚は坊さんの二等兵から一等兵にならはつた訳。お寺は喜びに包まれ、酒好きの檀家の衆は和尚さんそつちのけでしきりに祝盃を重ねている。年に一度の盆踊、音にきこえた河内音頭の歌声も高らかに、たのしくすくんで、今日は和子と仙吉の結婚式。

---

## 今晩のラジオ

NHK（第一）

七、三〇　浪花演芸会
八、〇〇　素人即席演芸会
八、三〇　お笑い三人組
九、一五　録音構成
一〇、三〇　歌は結ぶ

ラジオ福島

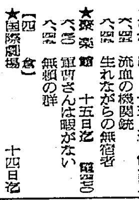
七、三〇　お笑い街頭録音
八、〇〇　山本富士子アワー
八、三〇　森繁千一夜
九、〇〇　三平の歌床屋
九、三〇　犯人を捜げろ
一〇、三〇　ラジオ名店街

NHKテレビ

七、三〇　ジエスチヤー
八、〇〇　黄金の椅子
八、三〇　お笑い三人組
九、〇〇　ドラマ
九、三〇　生活の知恵
一〇、一五　アイ・ラブ・ルーシー

---

## 今晩の映画



【平市】

★平館　十四日迄　電四六六
大相撲秋場所後半戦
六、三〇　自殺を売つた男
八、三〇　彼奴は誰だツ

★平新東宝　十四日迄　電一八三〇
六、五五　暴力の王者
八、三〇　ひちりめん女大名

★世界館　十四日迄　電二六八
七、一五　黒い炎
八、三〇　一粒の麦

★東映劇場　十四日迄　電六六五
五、五六　日蓮法難大襲来
六、五〇　裸の太陽
八、二六　隠密七生記

★民劇　十四日迄　電一三二三
五、一五　大番
七、〇五　若い獣
八、三〇　大学の人気者

★ひかり座　十五日迄　電一〇六八
六、五五　流血の機関銃
八、四五　生れながらの無宿者

★磐楽館　十五日迄　電四〇〇
六、五〇　軍曹さんは暇がない
八、四五　無頼の群

【四倉】

★国際劇場　十四日迄
七、一〇　美女の中の美女
九、一〇　揚子江死の脱走

★海盛座　十四日迄
七、〇〇　九人の死刑囚
八、一〇　四季の愛欲

★東宝　十四日迄
七、〇〇　四季の愛欲
八、三〇　九人の死刑囚

【内郷市】

★綴映劇　十八日迄
六、三五　ウバ車
八、〇〇　明日は明日の風が吹く

★第二いわき　十九日迄
六、三〇　ロマンス祭
七、四〇　オトラさんのおばけ騒動
九、〇〇　千羽鶴

---

## （商）（工）（ニ）（ュ）（ー）（ス）

**金福開店**　平市四丁目の洋服専門の店「金福」では店内改装中だつたが、このほど完成し二十日まで新装開店を記念して全商品の一割五分引きの大売出し中。

**生長の家**　本部主催、生長の家県連合会後援の生長の家大講演会は十七日正午から平市公会堂本館で行われる。なお入場料は百円となつている。

**紫陽会**　第二回紫陽会吟行は十九日午前十時から勿来海岸旅館で開く。会費五十円。

**民謡講習会**　平市教育委員会主催日本民謡講習会は十七日夜六時から公会堂日本間で開く。講師は社会体育指導員国井時雄氏。

---

## 慶弔録

14日

【平市】

「出生」▼中野行英（新川町三〇正二郎長女）▼大内隆夫（正月町一九弘二男）▼酒井浅仲（才槌小路三三源頭長男）▼熊谷万知子（磐城市古谷一〇四達郎長女）

「死亡」▼平沢竹太郎（八〇）（三丁目一〇良平父）▼武川鏡吉（一〇）（旧城跡一一昭夫長男）▼後藤きわ子（一）（三和村上市賀明義長女）

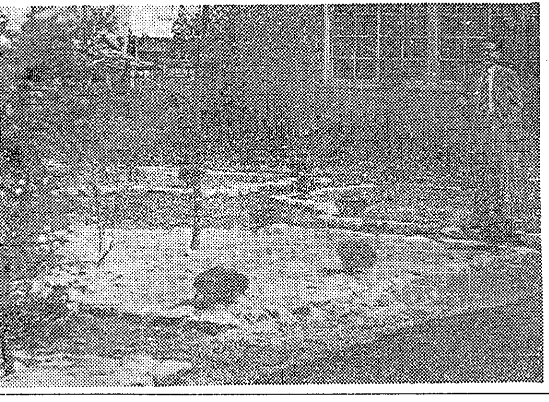
「婚姻」▼斎藤清英（番匠町三ミサヲ三男）と松本ツヤ子（弼宜町五栄松三女）▼白土敬（田町六九喜伯四男）と鈴木三四子（磐城市愛宕下充美二女）

【内郷】

「出生」▼古川純子（堀坂九英明長女）

「婚姻」古川英明と斎藤洋子（堀坂九）

---



# 石炭局前に庭園を造る

平石炭支局の労組（全商工労組平石炭支局分会）は労基署や平職安の職員に呼びかけて同建物の空地に大きな庭園をつくつた。庭園にはトリモチ、ヒマラヤスギなどからシユロやマシビを植え、小さな庭に大公園の風格をそえている。

【写真は出来上つた庭園】

これは石炭支局の創立十周年記念というふれこみでつくることになつたものだが、資金の調達次第、同建物の周りを生垣で囲む計画で、美化と防犯の一石二鳥の効果をあげている。工費は組合員の出資と石炭支局の援助労基署や職安職員のカンパで約十万円。

---

# 内高が優勝

## 夜間高弁論会

石城地区定時制高校弁論大会は十二年前十時から内郷高校体育館で開かれ団体に内高が優勝、個人では湯本高の富田笑美子さんが優勝した。成績次のとおり。

【団体】❶内郷高❷湯本高❸小名浜高

【個人】❶富田笑美子（湯本高）❷鈴木君江（小名浜高）❸金木恵子（内郷高）日下政徴（〃）設楽広志（内郷第二部）

---

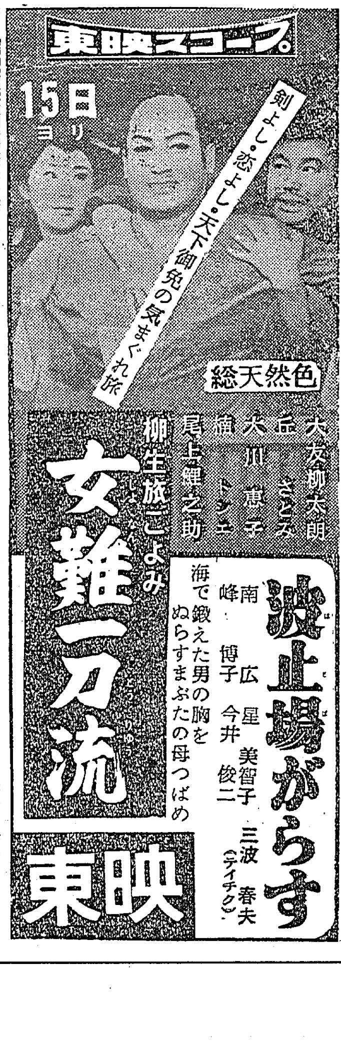
# 火力も野球連盟に加入

常磐火力勿来発電所では親善と体位を深めるため、このほど勿来野球協会に加盟した。これによつて同野球協会認定のチームは二十八チームになり、大家族となつたわけである。なお火力発電所のメンバーは次の通り。

部長代理比佐明、総監督久富義人、監督桜井満一、主将井坂安雄、投手渋谷浩司、鈴木ゆずる加藤政勝、捕手熊谷清春、鴛英五郎、内野手桜井満一、堀江照通、谷平重平、大谷璇、磯上敬夫、小松繁夫、外野手舟木茂、井坂安雄、空閑信喜、大友雄一郎、マネジヤー川崎修

---

アグファカラー　総天然色　有馬稲子　久我美子　佐田啓二　高橋貞二　佐分利信　田中絹代　山本富士子　15日ヨリ　彼岸花　昭和三十三年度芸術祭参加作品　名匠小津安二郎監督が空前の豪華配役で贈る香り高き映画芸術の粋　毎日午前9時30分より映写　平館
松竹グランドスコープ　「平凡」全読者を感泣させた田宮虎彦の評判小説映画化　桑野みゆき　山本豊三　野を駈ける少女



東映スコープ　15日ヨリ　剣よし・恋よし・天下御免の気まぐれ旅　総天然色　大友柳太朗　丘さとみ　大川恵子　植木トシエ　尾上鯉之助　柳生旅ごよみ　女難一刀流
波止場がらす　南広　星美智子　峰博子　今井俊二　三波春夫（テイチク）　海で鍛えた男の胸をぬらすまぶたの母つばめ　東映

大映スコープ　総天然色　都会という港　日本中をわかした菊田一夫の連続放送劇を山本富士子の二役で映画化！
市川雷蔵　仲谷遠矢　炎上　金色の国宝に放火してまで若い魂が反逆しつづけたものは　15日ヨリ　世界館

新東宝スコープ　隠密将軍と喧嘩大名　八代将軍対尾張大納言　旗本八万騎に迫る疾風の剣士団　無敵の顔ぶれ剣豪スタア勢揃い　15日ヨリ　嵐寛寿郎　若山富三郎　天城竜太郎　明智十三郎　坂東好太郎
男の戦場に痛烈一本背負い　恋と鉄腕が爆発する怒号篇　決斗勝ドキ橋　子郎聡　千鶴一　上崎村　野竜山　菊潤彦　小明　柳崎山　花田片　平新東宝

味のとんかつ　大寅　平市銀座通り　電九六八
出前迅速
カツライスの部　松ライス　一三〇円　竹ライス　一八〇円　梅ライス　二三〇円
かつ丼の部　鶴かつ丼　一五〇円　亀かつ丼　二〇〇円

内科　外科　産婦人科　★入院随時
前田医院
院長　前田清美　副院長　前田啓雄
勿来市植田町本町六三　電話一二四番

貴女はきつと幸福になれる！
生長の家大講演会
講師　生長の家副総裁　谷口清超先生
☆人生の本当の幸福☆道徳と自由☆について
とき　10月17日12時より17時迄
ところ　平市公会堂本館
（奉謝金　百円）
主催　生長の家本部
後援　生長の家福島県連合会　生長の家浜通地区協議会　生長の家平誌友相愛会